

令和5年度



川崎市立東高津小学校

教育活動報告



令和6年2月29日(木)

・教育関係法令
・学習指導要領等
・かわさき教育プラン

学校教育目標

考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩

- ・自分も相手も大切にする子
- ・夢や希望をもって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・自分らしく健康な子
- ・地域とつながり貢献する子

今年度の重点目標

A 多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

B よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

C 主体的、対話的で深い学びを実現しよう

D 誰もが自分らしく安心して心身を育む環境をつくろう

E 安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

重点にかかると具体的な取組

- ① 子ども一人一人の自己肯定感や有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や、互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てる。
- ② 「なりたい自分」を大切にし、人としての在り方生き方の軸を大切にしていくなかで、様々な問題を乗り越えられる生きる力を育てる。
- ③ 自分のめざす「ひがたかっ子」になるための目標設定や振り返り等を行い、「キャリア在り方生き方教育」の推進を図る。
- ④ 共生＊共育プログラムを推進し、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てる。

- ① よりよい生活を送るために、目標に向かって努力する子どもを育てる。
- ② 「自分が」や「自分たちが」と本気になれる対象を見付け、子どもたちが主体的に考えて行動に移せるように、一人ひとりの意見を聞いたり、伝えたりする場を設ける。
- ③ 挨拶やきまり、社会のマナー等の大切さを知り、進んで守ろうとする子どもを育てる。
- ④ 学校生活をより豊かなものにするために、学校や学年、学級といった集団全体を見て、自分ができることをしようと子どもを育てる。
(実行委員や係活動など)
- ⑤ 子どもの意見が反映されるように委員会活動やクラブ活動での話し合いを充実させ、連携し合ってより良い学校をつくる場の設定をする。
- ⑥ 子どもの心身を育む食育の推進、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進する。

- ① 学校教育目標の実現に向けて、校内研究を通して、協力して教材研究を行い、授業を公開することで互いに学び合い、授業力の向上を目指す。
- ② 研究を通して育てたい力を明確にし、育成を目指す。
- ③ 学年ごとに研究の視点となる「めざす子どもの姿」を明確にして取り組む。
- ④ 校内研究「国語科」を通して、「話す」「聞く」力を育てていく。

- ① 子どもの声に耳を傾け、面談の時間を確保し、いじめ・不登校の早期未然防止に努め、チーム体制での対応を行う。
- ② 対人関係等で困り感があったり、個別に支援が必要だったりする子どもたちに対して個に応じた支援を充実させる。
- ③ 学年・学校全体で子どもたちにかかわることを意識し、全教職員による児童理解の上に立った児童指導・支援の体制を充実させる。
- ④ 保護者や地域の方が話しやすいように心がけ、全教職員で連携して、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤ 学校巡回カウンセラーと協力して、児童理解や教育相談を充実させていく。

- ① 授業参観や学校・学年行事等を公開し、学校ホームページ、学校・学年だより、懇談会等の充実を努め、積極的に情報の発信を行う。
- ② 安全な学校生活を送れるように保護者・地域と連携し危機管理意識を高めると共に、子ども自らが命を守る防災・防犯教育を推進する。
- ③ 情報機器等の危険を意識して利用する情報モラル教育を家庭・地域と連携して推進する。

多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

- 一人一人の子どもの自己肯定感、有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てるために、日常の授業や行事などの際に一人一人が活躍の場をもてるようにしている。子どもの権利条例について学ぶなど、人権教育を各学年で取り組んでいる。職員の人権教育研修も行い、人権意識を高めるようにしている。
- 他者と意見が食い違ったり困難なことがあったりしても「なりたい自分」を大切にしたり、相手を思いやったりする態度を大切にするために、学校教育目標をもとに、学年・学級、自分の目標を立てた。折々に振り返りながら、年間を通してめあてをもって活動に取り組んできた。
- 各教科でも「キャリア在り方生き方教育」を意識して授業を実践してきた。キャリアノートを活用できるところを検討し、指導計画をつくり、各学年で取り組んだ。キャリア・パスポートには自分の成長を知ることができるようにどの記録を残すのかを検討しながら、高等学校まで確実に引き継げるようにした。
- かわさき共生*共育プログラムを計画的に行い、仲間づくり、友だちづくり、自分づくりの3種類のエクササイズについて体験してきた。「キャリア在り方生き方教育」とともに授業の様子を学校だよりに掲載紹介した。来年度は参観、体験の機会をもてるようにしたい。
- ペア学年を中心とした異学年交流活動では、名刺交換や作品鑑賞、運動会の応援、学習発表の日のリハーサル鑑賞などの交流に取り組み、互いを知ることができた。

よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

- よりよい生活を送るために目標を立て、その目標に向かって努力する子どもを育てるために、学年目標と学級目標を決め、常に意識しながら生活することができた。また、学校全体のよりよい生活を考えるために、運営委員会や代表委員会の活動を大切に。「やさしさパワーアップ作戦」や「かめさんぼ作戦」など、学校生活の中で児童自身が大切にしたいと思うことを、代表委員会の活動を通して考え、全校児童で一丸となって取り組むことができた。
- 行事など集団で活動するときには、それぞれが目標をもち、その目標に向かって努力できるように支援したり価値付けしたりしながら振り返りを大事にし、次の活動へつなげるようにした。特に学級活動では、話し合いを重ねながら集団の課題として合意形成を図りながら解決できるようにしたり、自分の課題に対して解決方法や目標を立てたりするなど一人一人が意思決定できるようにした。
- 学校生活を充実させ、集団全体を見て自分ができることをしようとするために、係活動に重点を置いて取り組んだ。学級目標を意識した子どもたちの自主的な係活動で学級作りを行った。自分のクラスをよりよくするために何ができるか、と考えることで、クラス全体にもよい影響を与えることができた。
- 委員会活動では話し合いを充実させ、連携し合ってよりよい学校をつくろうと取り組んだ。各委員会が役割を意識し、創意工夫しながら学校をよりよくしていくための取り組みを考え、集会や行事に関連した活動を行うことができた。また、クラブ活動でも異学年の子ども同士で協力し、学校生活の充実に向けて計画を立て分担するなど、異学年交流も大切にすることができた。
- 子どもの心身を育む食育を推進していくために栄養教諭が、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進するために養護教諭が授業を行った。そのため、一人一人が自分の健康について考えながら学校生活を送ろうとする様子が見られるようになってきた。

主体的、対話的で深い学びを実現しよう

研究テーマ

「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」を体現する子どもたちを目指して
～自分事として考え つなげて 深めて 学び合う～

- 昨年度まで国語科の授業を通して「話す・聞く力」を育てることを研究の目標にしてきた。今年度は「話す・聴く力」について具体的な子どもの姿を意識しながら校内研究に取り組んだ。また、今年度より川崎市国語科研究推進校として、これまでの研究を生かして授業提案を行った。来年度は全市に向けて研究報告を行う予定である。
- 研究授業については、年3回全学年が授業提案を行った。授業の視点を明らかにすることで、どのような力を付けたいのか、また研究テーマに迫るためにどのような手立てを取っているのか分かりやすくなった。
- 研究授業だけでなく、学校におけるすべての教育活動の中で話す・聴く力を育む手立てとして「話す・聴くステップシート」を導入したり、朝の短時間学習の時間「ひがたかタイム」で楽しみながら語彙を増やす取り組み「ことばのじかん」を実施したりしてきた。
- 来年度は、研究授業・「話す・聴くステップシート」・「ことばのじかん」についてさらに研究を深めていくことにより、子どもたちの「話す・聴く力」を一層高められるようにして、他教科でも横断的に活用できるようにしていきたい。

安心・安全に心身をはぐくむ環境をつくり支援しよう

- 児童一人一人の実態を把握し、それぞれの特性に合わせた支援や指導ができるよう、支援教育コーディネーターをはじめ、各担任・級外の教職員で情報共有を行いながら、支援にあたった。特に、毎月1回の部会・毎週の打ち合わせ等で定期的な情報共有を意識して行った。
- 月に1～2回、学校巡回カウンセラーが派遣され、保護者や児童の教育相談、教職員の校内研修や児童理解の助言などを行った。
- 支援を必要とする子どもについて複数の教員でその支援ニーズを具体的に把握し、それぞれに応じた指導や支援を行ったり、外部機関と連携したりした。
- 学校生活アンケートをもとに、担任が面談を行うことで、子ども一人一人の考えを知ることができた。それらを学年で共有し、各学年で頻繁に連携を取りながら対応を行った。今後も学年を中心に、複数の職員で対応にあたるようにしたい。
- 体力向上を目指す取り組みが行われた。運動委員会主催のスポーツ大会が行われ、多くの児童が積極的に参加していた。朝のキラキラタイムの時間を活用して各学年で体育的活動に取り組んだ。また、放課後に設定される校庭開放は、約束を守りながら多くの子どもが遊んでいる。

安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

- 防災・防犯教育では、予告なしの避難訓練を行うなど、様々なシチュエーションで訓練を実施できた。子どもたちは自分で考え、判断し、行動することができた。長期休み前には、各自の児童用非常用持ち出し袋を点検し、袋に入れるものや緊急時の行動について家族と話し合う機会を設けた。子どもたちと一緒に考えることで家庭の防災意識も高まった。
- 学校ホームページは、適時更新することができた。学校全体の教育活動や学校のルール、学校評価の結果などを掲載した。学年ページでは各学年の取り組みを知らせた。その中には防災・防犯にかかわる子どもの活動や、地域の方に講師として来ていただき学習している様子などもあった。学校の教育活動を広く広報する手段として、とても有効であった。
- 情報モラル教育の取り組みとしては、各学年の必要に応じて GIGA 端末を家庭に持ち帰ってクラスや委員会の活動をしたり、家庭での学習に役立てたり、家庭と学校をオンラインで繋ぐ手段として活用したりした。クラスごとの SNS のアプリを使って、子どもとのコミュニケーションや宿題のやり取りなどを行った。
- 健康に関しては、教師の健康安全指導のみならず、委員会の活動を通して健康や衛生や安全に関する知識を深めることができた。保健委員会では、トイレトペーパーの補充等の常時活動に加え、放送集会で熱中症予防の注意喚起をしたり、「ハンカチ・ティッシュをわすれずに!」「廊下を走らない」「手洗い・マスク着用励行(体調不良時)」等のポスターを制作し、校内の安全・健康を呼びかけたりした。

～各学年から～

【個別学習室】

○元気ががんばる子

自分のできそうなことに挑戦し、最後までがんばろうとする。

○かかわる子

友達と一緒に遊んだり学習したりしようとする。

☆一人一人が具体的な目標をもち、課題を解決していく過程で達成感を味わい自信をもって取り組めるよう工夫して授業を行った。

☆交流級担任と個別学習室担任とで連携して学習を行った。個別学習室の児童だけでなく、交流級児童とのかわりも増え、運動会や学習発表などでは共に学んだり活動したりする楽しさを実感することができた。

☆栽培活動や校外学習（キッザニア東京）、買い物学習、お楽しみ会などの活動を通して、興味・関心をもって取り組むことができた。また様々な経験を得て、自分達で考え、協力して助け合いの大切さに気付くことができた。

【1年】 あおぞら

あ あいさつとへんじ お おもいやり

ぞ がんばるぞ ら らんらんだのしく

☆自分のことだけでなく、友達と力を合わせて、助け合う姿が見られるようになった。

☆教師や友達の話を聞きながら聴いたり、反応をしたりと、「聴くこと」が上手になった。

☆伝える相手のことを意識して、自分の意見を積極的に表現できるようになった。

☆学習面でも、生活面でもすぐにあきらめないで粘り強く取り組めるようになった。地道な頑張りを通して、この1年間で、できることがたくさん増えた。

☆それぞれの個性を大切にして、「自分も友達も大切にできる1年生」をめざして、子どもたちを励ましてきた。一人一人が自分の良さや好きなものを大事にし、少しずつ自分に自信がもてるようになってきた。

☆「読む」「書く」「数える」「計算する」等、小学校での学習の大切な基礎基本を身につけられるよう支援を行い、力を着けてきた。

【2年】

○やさしさの た・す・き（禱）をつなごう！

- ・人にやさしく、あたたかい言葉で！
- ・助（たす）け合い、協力（きょうりょく）する心！
- ・進（すす）んで行動、自分から！

☆友達や1年生に対して、優しい気持ち、あたたかい言葉を意識させ、一人一人のよさを認め合うことで、自尊心の向上にもつなげていくことができた。

☆困っている友達に自然と手を差し伸べ、お互いを認め合うことで、協力する学び合いへとつなげることができた。また、実行委員としての活動を通して、学級の枠を超えた学年として協力する大切さに気付くことができた。

☆教職員が場に応じた適切な支援、励ましの言葉を掛けて児童の意欲を高めたことで、自信を付け、自己決定の力を育てていくことができた。

【3年】

みんな **スマイル**

・友だちと助け合い、3年生のチームワークを大切にしよう

・自分の目標をもって、最後までがんばろう

・進んで取り組み、自分の考えを伝えよう

・自分も友だちもまわりの人も大切にしよう

・自分の住んでいる地域を知って、好きになろう

☆学習の積み重ねを大切にし、伝える場や伝える機会を設定することで、「話す力」「聴く力」が少しずつ成長することができた。授業の中で、友達と考えを伝え合う経験を積むことができた。

☆他学年との交流や共生共育プログラム等を通じて、多面的なものの見方や相手の気持ちを理解することなど、人間関係づくりについて学び考えることができた。

☆総合的な学習の時間では、地域の人々の思いを知り、地域に受け継がれるものについて考えることができた。

【4年】

～挑・調・支 いい感じ～

- よく聞きよく話しめあてに向かって行動しよう
- 進んで運動や学習に取り組み、何事も好きになろう
- 自分の住んでいる地域とかかわり、見方を広げよう
- 友達のことを考え、仲良く協力し合おう

☆年間を通して、一人一役の実行委員を設け、めあてや活動内容、活動時期を自分たちで考え、見通しをもって活躍していける場を設定した。みんなのために責任をもって一生懸命取り組む姿が見られた。

☆学年行事や学年集会を通して、みんなで協力し、責任をもってやり遂げる自信や充実感がもてるよう取り組んできた。学習発表や連合音楽会を通して、表現する楽しさや学年全体で一つのもので作り上げる達成感を味わうことができた。

☆校外学習に出かける時やゲストティーチャーに来ていただく時は、時と場を考えて行動するよう指導してきた。社会科見学や総合的な学習の時間などで地域の人のかかわりを通して、場に応じた行動や言葉遣いを意識できるようになってきた。

【5年】

「喜笑展結」(きしょうてんけつ)

- 喜…みんなが喜ぶ
- 笑…笑顔になる
- 展…学びを発展させる
- 結…友達や学習を結びつける

☆自然教室では、互いのよさに気づき、認め合うことで思いやりの気持ちを養うことができた。また、助けあったり協力したりすることで、みんなでだからこそ味わうことができる喜びや楽しさを感じることもできた。

☆委員会活動では、一つ一つの事を自分事として考えて意見を伝え合ったり、学校を動かしているという経験を積んだりして高学年としての責任感や自覚をもつことができた。

☆授業では、自分の考えや立場を明確にした上で、お互いの意見を聞き合い、さらに学びを深めることができた。

【6年】 「 一歩 」

- 相手の気持ちを考えて行動しよう。
- なりたい自分をイメージしよう。
- 進んで考えを伝え合い、互いに高め合おう。
- 自分のよさ、仲間のよさを認め合おう。

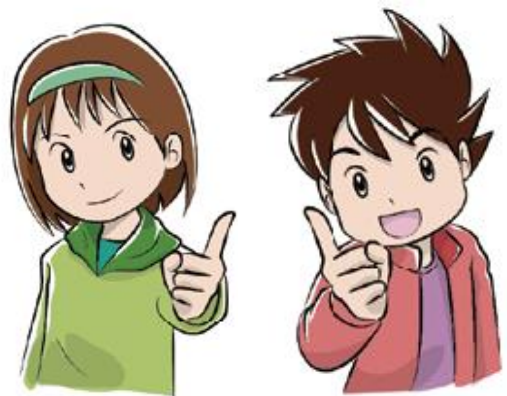
《取り組み》

☆「一歩」という学年目標のもと、グループのまとめ役などこれまで経験したことのないことに進んで取り組む姿勢を互いに認めることができた。

☆様々な経験を積み上げたことで、自身の成長を感じ取り、なりたい自分をより具体的に捉えることができるようになった。

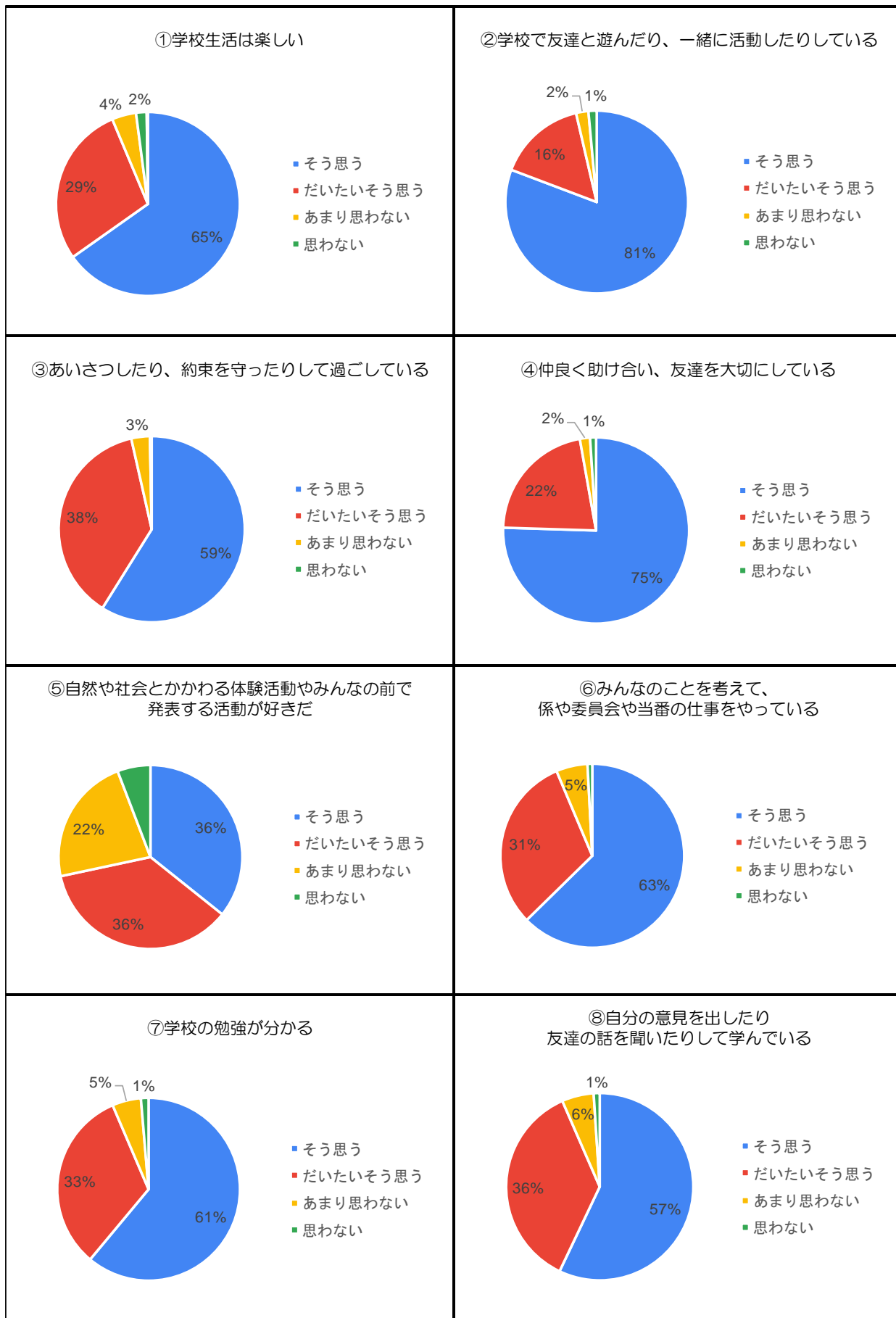
☆実行委員や児童会活動では子どもの考えを尊重して支援したことで、学年や学校を動かしているという責任感や自覚をもつことができた。

☆共生*共育プログラムをはじめ、あらゆる場面で認め合う機会を設けたことで互いのよさに気づき、思いやりの気持ちを養うことができた。

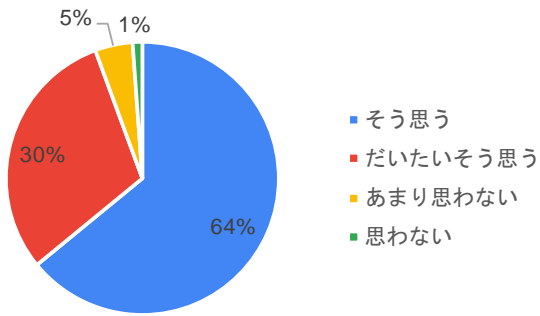


令和5年度学校生活アンケート（児童）より

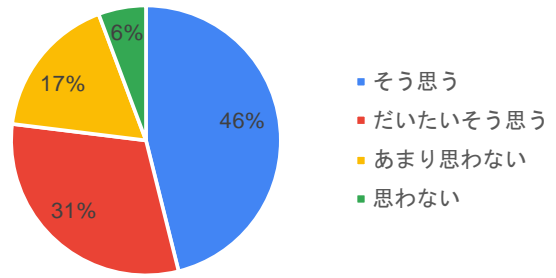
12月に全校児童に、学校生活アンケートを実施しました。学校生活の様子を振り返りながら、今の自分の事、学校での生活について感じていること、思っていることをまとめました。アンケート結果を分析していきながら、これからの学校教育の在り方について子どもたちと一緒に考えていきたいと思えます。



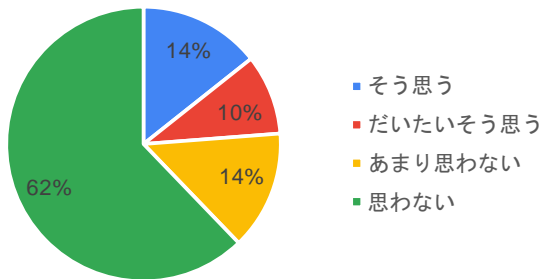
⑨学習のめあてをもって、がんばろうと思っている



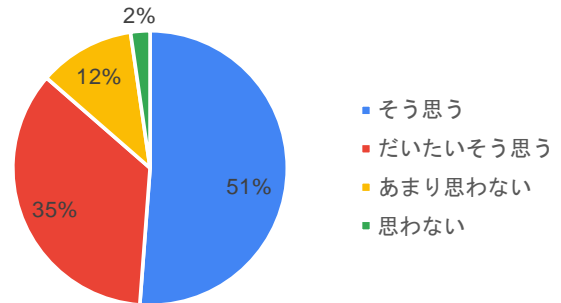
⑩キラキラタイムで運動したり、
休み時間に外で遊んだりしている



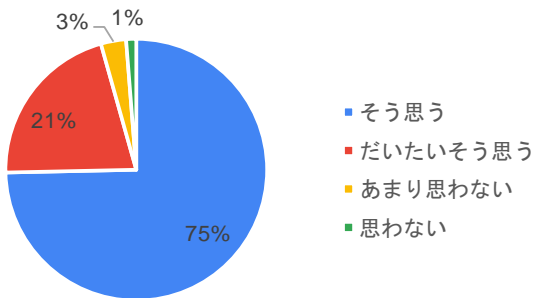
⑪放課後の校庭開放で元気に遊んでいる



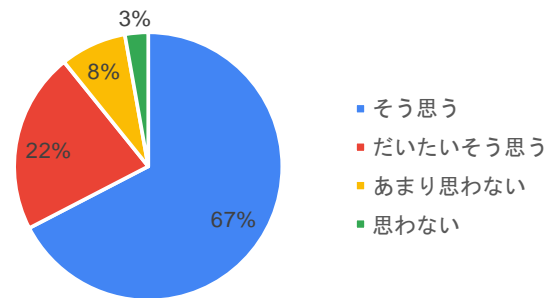
⑫校舎は気持ちよく使いやすい



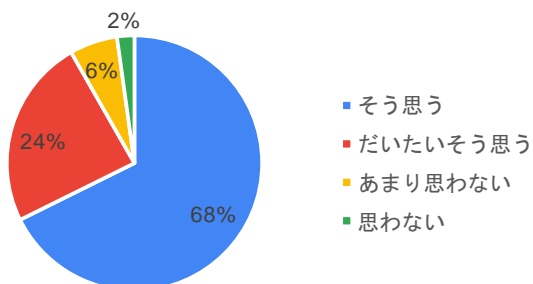
⑬安全や健康に気をつけて、生活している



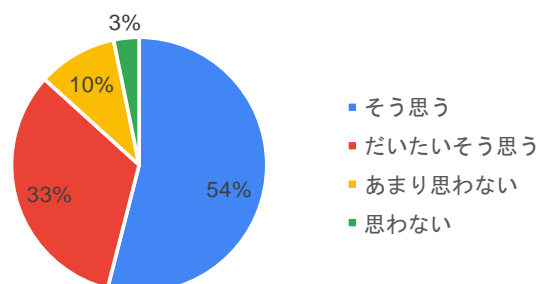
⑭図書室を利用したり本を読んだりするのが楽しい



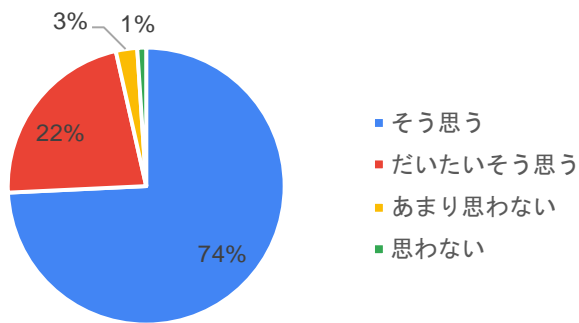
⑮GIGA端末を使って調べたり、
友達と関わったりすることが楽しい。



⑯地域の方からお話を聞いたり、
学んだりするのは楽しい



⑰先生は、話を聞いて相談にのったり、アドバイスをしたりしてくれる



<東高津小学校のよいところ>

- ・東高津小学校は、人にあったら挨拶ができるところが良い。・叱るときはしっかりとしてくれる先生が多い
- ・クラスみんなが勉強とかを教えてくれるところ
- ・一人一人の分からないところをヒントで教えてくれるので、自分自身でわからないところを解くことができる。
- ・友達を作りやすい環境である。ワークスペースでみんなが色々活動していたから、自分から活動しようと思いました。
- ・年上のみんなが、心優しく学習を教えたりしてくれるところが、東高津小学校の良いところです。
- ・GIGA端末が使えるから、わからないことがあっても調べられるところ。
- ・運営委員の人たちなどの全校投票があるから、学校全体で活動しているように感じる
- ・登下校中ではスクールガードリ-ダ-さんやPTAの方が地域の安全を守ってくれているところがいいなと思います。

<先生に相談したいところ>

- ・周りがいつも喋っていてたまに先生の話が聞こえなくなるときがある。黒板が見えないときがあります。
- ・友達の口が悪かったり、強い言葉遣いをしてきます。
- ・算数の授業についていけない。
- ・あまりうまくみんなで遊べない。
- ・廊下を走っている人がいたから、言ってあげたのに、無視して走っていく人がいます。

<アンケートの考察> ※アンケートから見られる顕著な部分だけを載せています。

低学年や高学年でも、友達や先生が「やさしい」という記述が多くありました。高学年では友達との関係で「協力」「寄り添い」などの言葉も見られました。児童、保護者、教師との関係づくりやペア学年の活動、道徳や共生*共育プログラムの学習の成果も出ていますと考えられます。今後とも計画的な指導を学校全体で続けていきたいと思います。

「⑰先生は、話を聞いて相談にのったり、アドバイスしたりしてくれる。」では、「そう思う・だいたい」が高学年で98.2%、低学年で94.9%と、児童からも高い評価を受けています。いつも子どもたちに寄り添いながら相談や悩みを聞き、チームとして連携して指導・支援にあたることのできる教職員集団を目指していきます。

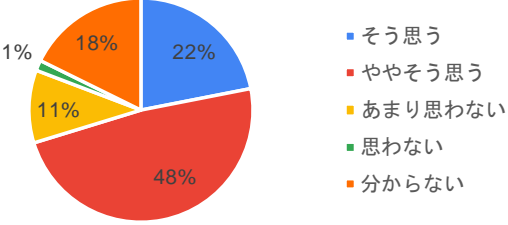
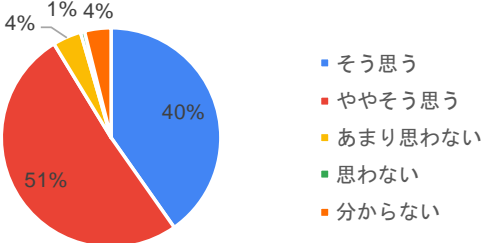
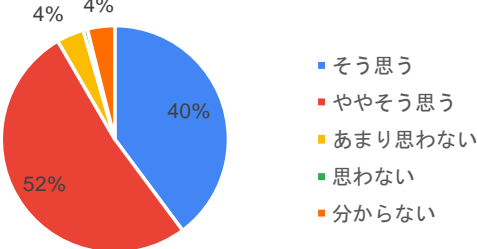
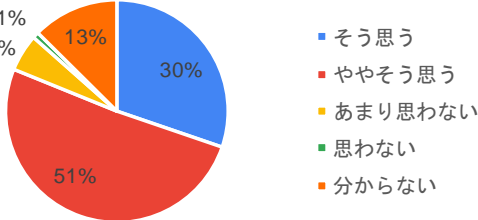
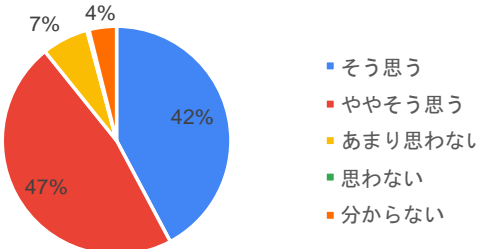
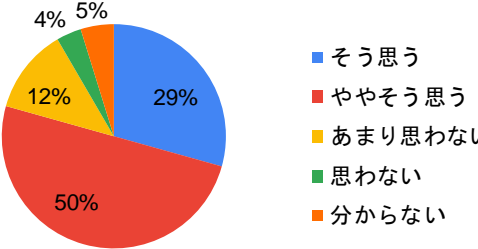
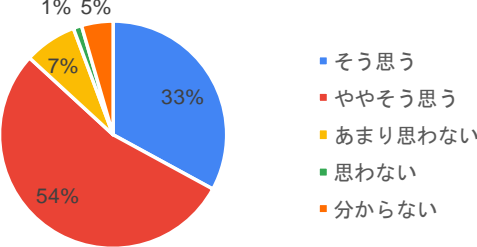
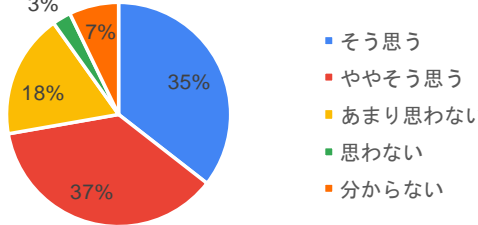
「⑩放課後の校庭開放で元気に遊んでいる」について、思わないと回答した児童は、62%となっています。放課後に習い事等があり、忙しい様子が伺え、なかなか校庭で遊ぶ児童が少ないように感じます。また、校庭の使い方(遊び方やルール等)について、すれがあると考えられます。来年度から全市で「みんなの校庭プロジェクト」が始まります。子どもたちの意見を聞きながら基本的なルールを決め、校庭を有効に活用し、元気に楽しく遊べる姿が増えるように改善していきたいと思います。

「⑤自然や社会とかかわる体験活動やみんなの前で発表する活動が好きだ」では自分の意見に自信がない児童がいることがわかります。自信をもって授業に取り組めるようにするには、自分の考えが尊重される経験や友達との関係づくりが大切だと考えます。一人一人の思いを大切にクラスづくりや、GIGA端末を活用した発表の工夫など、授業改善を図っていききたいと思います。

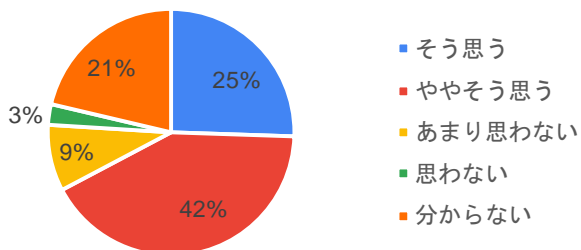
「給食が美味しい」「校舎がきれい」「校庭が広い」。「給食が美味しい」などが毎年子どもたちから学校の良いところとしてあがります。給食は調理員にもその声を届けたり、給食委員会の活動につなげていったりしたいと思います。

令和5年度教育活動アンケート（保護者）より

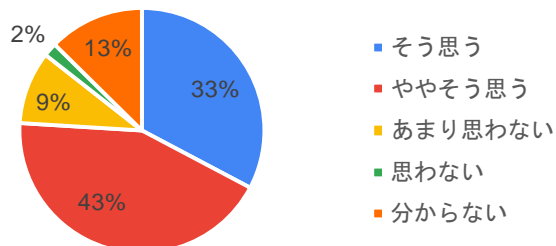
12月に実施した教育活動アンケートのご協力ありがとうございました。4月からこれまでの教育活動について保護者の皆様のご回答いただいたアンケートを分析し、次年度の新たな教育活動計画に生かしてまいりたいと考えています。

<p>【豊かな心と感動する心の育成】 1. 子どもたちは「キャリア在り方生き方教育」を通して、希望や目標をもって生きる態度を育てている。</p> 	<p>【豊かな心と感動する心の育成】 2. 子どもたちは、人や自然、社会とかかわる体験活動、表現活動の充実を図り、感動する心を育てている。</p> 
<p>【豊かな心と感動する心の育成】 3. 子どもたちは、道徳教育や特別活動の学習を通して望ましい人間関係や集団づくりを育てている。</p> 	<p>【豊かな心と感動する心の育成】 4. 子どもたちは「共生*共育プログラム」の推進を通して、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てている。</p> 
<p>【確かな学力の育成】 5. 子どもたちは学校生活を気持ちよく過ごし、進んで学べるように取り組んでいる。</p> 	<p>【確かな学力の育成】 6. 子どもたちは一人一人の学習状況を理解され、丁寧に指導をうけている。</p> 
<p>【確かな学力の育成】 7. 子どもたちは授業のなかで学ぶ楽しさや分かる喜びを味わいながら取り組んでいる。</p> 	<p>【確かな学力の育成】 8. 子どもたちは週に1度朝の読書タイムに取り組んだり、図書ボランティアの方々の協力を受けたりして、本に親しんでいる。</p> 

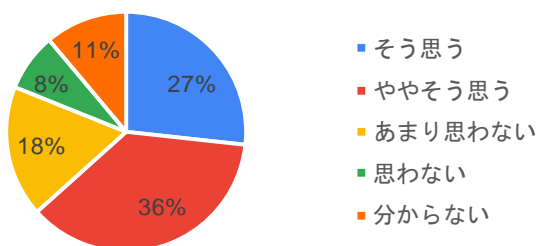
【健やかな心身の育成と安心・安全な居場所づくり】
 9. 学校は、子どもたち一人一人の声に耳を傾け、いじめ・不登校の未然防止に全職員で努めている。



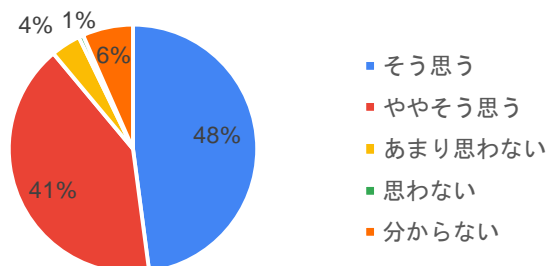
【健やかな心身の育成と安心・安全な居場所づくり】
 10. 子どもたちは、キラキラタイムの活動などを通して体を動かし、体力向上に努めている。



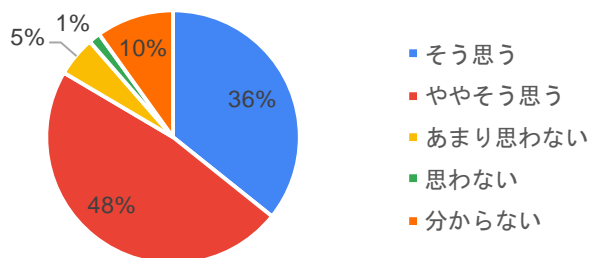
【健やかな心身の育成と安心・安全な居場所づくり】
 11. 子どもたちは、校庭開放の活用により、体を動かす機会をもっている。



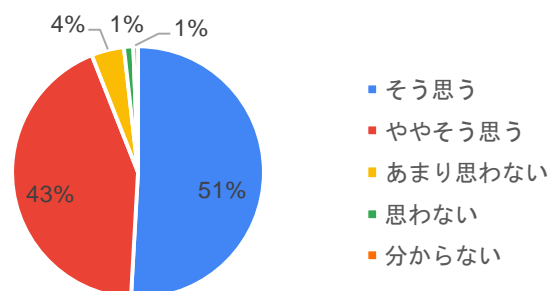
【健やかな心身の育成と安心・安全な居場所づくり】
 12. 子どもたちは学校での防災・防犯教育の推進を通して、災害や事故から命を守る意識を高めている。



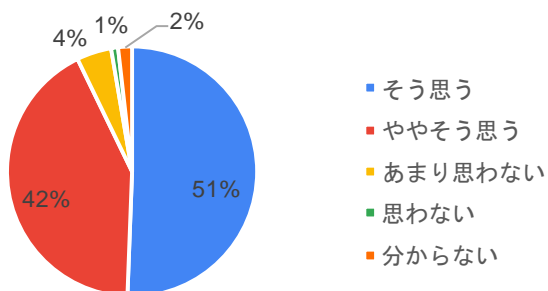
【地域と共に歩み、信頼される学校】
 13. 子どもたちは、ボランティアやゲストティーチャーと連携した学習を通して、充実した学習活動ができている。



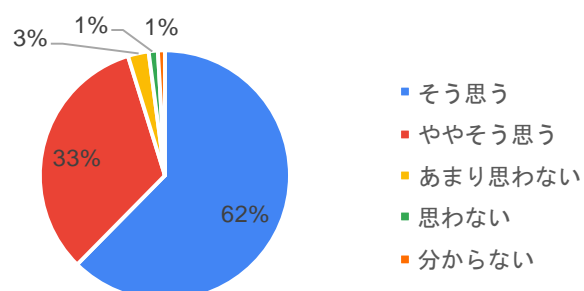
【地域と共に歩み、信頼される学校】
 14. 学校は、授業参観や行事などを通して、子どもたちの様子を知る機会を多く設けている。



【地域と共に歩み、信頼される学校】
 15. 学校は、学校だより（ひもも）や学年だより、ホームページなどを通して教育方針や子どもたちの活動の様子を伝える努力をしている。

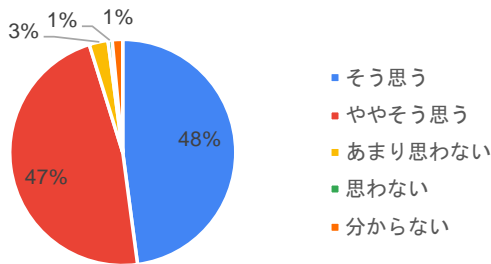


【地域と共に歩み、信頼される学校】
 16. 学校は、懇談会、個人面談、学期末面談などを通して担任等と話し合える機会を多く設けている。



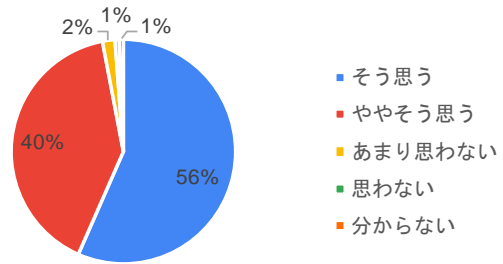
【家庭の様子】

17. 家庭では、学校の教育活動について理解し、協力するようにしている。



【家庭の様子】

18. 家庭では、社会のルールや人を思いやることについて子どもたちによく話している。



＜東高津小学校のよいと感じている点＞

- ・ 登校中に道路の真ん中を歩き後ろから車が来ていても気づいていない一年生に高学年の生徒が危ないよ。と注意している姿を見て、他の学年ともしっかりコミュニケーションが取れていることや、年下の子達にも優しく接する姿をよく見かけるので、優しい生徒が多い点。
- ・ 先生がとても親切です。先生が子どもの事をよく見て、細かい事を把握して下さり毎回、丁寧に対応して下さいます。その為、子どもは先生の事が好きで、楽しく学校へ通わせていただいています。第一子のため、親としても初めての小学校生活になり、不安もありましたが、楽しく通わせてもらい、感謝の気持ちで一杯です。
- ・ ひももの校長先生のお話を楽しみに拝見しております。子供達の様子がわかり、またそれを先生方もしっかり見てくださっていることを毎月感じます。
- ・ 色々なイベント、ゲストティーチャーを迎えての交流などをよく行って、子供たちの世界を広げてくれている。

＜学校教育目標の実現に向けてのアイデア＞

- ・ クラスメイト、先生、お互いのことをよく知ることが団結につながり、目標の実現に向かうのではと思います。
- ・ 校内では生き生きとした前向きな様子が伝わってきます。校外でもそのような子どもたちの様子を地域に伝えられる機会がもっとあればよいです。高齢者の方との交流など。昔の多摩川や高津の歴史なども生の声で学ぶ機会があると良いです。
- ・ オンライン展覧会など、多くの方に活動の様子と結果を見てもらい、評価をもらうことで自信が生まれ、広い視野が持てるのではないかと思います。
- ・ 教科制の先生、特別授業などにより担任に偏らないプログラム 担任の負担軽減、幅広い大人が子どもたちに関わることなどメリットがあると考えられます。

＜アンケートの考察＞ ※アンケートから見られる顕著な部分だけを載せています。

「先生たちがよい」という意見が多くありました。特に、細やかな配慮や相談しやすい雰囲気があるとの意見が多いただきました。保護者の方のご理解と普段の教職員の努力が結実していることが伺えました。アンケートを見ても、【信頼される学校】の中の「機会を多くもっている。」という欄は、約95%と高い数値が出ています。今後も信頼される学校づくりをめざしていきます。

6. 子どもたちは一人一人の学習状況を理解され、丁寧に指導をうけている。」は「あまり・思わない」が15.8%となっています。教職員アンケートでも「あまり・思わない」が17.9%となっていて、保護者よりも多い結果となりました。さらなる授業改善に向けて教材研究を進め、GIGA端末等の活用を試みながら、教職員が児童一人ひとりにわかりやすく丁寧に指導にあたっていきたいと思えます。

保護者アンケートの中で、「いじめ、不登校の未然防止」では、「思う・やや」が70%弱、「あまり・思わない」が10%を超えています。また、「わからない」が20%を超えていました。日頃からのいじめ、不登校の未然防止に対する取り組みについて、人権週間で授業参観を実施するなど、情報を発信する機会を多くもってきたいと思えます。

校舎がきれい使いやすいという意見が、児童（低）児童（高）保護者、教職員の記述から出ていました。この状態を維持していくために、普段の清掃活動を大切にしていきます。

また、長期休み前の大掃除や職員作業を今後も行っていきます。気持ちの良い環境で教育活動を行っていきたくていきたいと思えます。

「子どもたちが優しい」という意見が多くありました。特に、高学年の低学年に対する接し方（登下校中など）に対し良い評価をいただきました。普段から子どもたちの様子を見ていただけていることを感じています。子どもたちにも伝え、より良い学校をつくっていくとする意識を大切にしていきます。

地域や外部講師との結びつきについて、好意的に思っている意見が多くありました。学校で様々な経験ができることが評価されているのだと思います。読み聞かせボランティアなどPTAの活動とも連携しながら地域と共に歩み、信頼される学校をめざしていきたいと思えます。また、各学年での実践や反省を次年度に引き継いでいくことでより充実した教育活動が実践できるようにしていきます。

登下校の安全確保についてご意見をいただきました。不審者情報が入った際に教職員は見守りや安全パトロールを実施しています。PTAでは年2回、見守りパトロールを実施していただいております。しかし、児童の登下校の様子について地域の方から苦情の連絡をいただくことがあります。登下校のマナー等のミマモルメでの情報については、ご家庭でもご指導ください。

児童、保護者アンケートだけでなく教職員にもアンケートを実施しています。アンケート結果での保護者と教職員との乖離は少ないです。懇談会や面談等で保護者の方と情報を共有しながら、学校や児童の課題について取り組んでいきたいと考えています。